




警戒レベルを活用した水災タイムライン策定 WEBセミナー



近年「平成元年東日本台風(台風第19号)」や「令和2年7月豪雨」など甚大な被害を及ぼす水災が日本各地で発生しました。水災は、事前に災害や被害の規模が想定される「進行型災害」であり、**事業者が災害発生前の段階で「誰が」「いつ」「何をする」ということを整理（タイムラインを作成）しておくことによって人的被害を確実に低減できるものです。**あわせて物的被害や「被害を受けたあとの」業務の復旧も想定して実施事項を計画すれば早期の復旧も図れます。本ウェブセミナーは、警戒レベルを防災行動のトリガーとした場合の水災タイムライン策定時のポイントと例をお示します。

特徴

- 本WEBセミナーは、章別に構成され、ご関心のあるパートを選択して視聴できます。
- 安全配慮義務の観点から、風水害を想定した防災計画は各事業所で必須であるといえます。
- タイムラインの基本的な考え方の説明とともに警戒レベル（2019年から気象庁・市区町村から発信されるようになった気象情報・避難情報）を活用したタイムラインの作成のポイントをお示します。

開催期間	・2020年8月27日（木）正午～2021年3月31日(水)
視聴方法	・下表のURLまたはQRコードからアクセスしてご覧ください。 パスワード：msadAD
注意事項	・予告なく内容を変更する場合がございます。 ・本セミナー著作権はMS&ADインターリスク総研株式会社に帰属します。

 ご都合のよろしい時間に視聴できますが、アクセス状況により、WEBサイトに繋がらない可能性があります。その場合は時間帯を変えて再アクセスをお願いいたします。

	プログラム	QRコード
第一部 (約25分)	(内容) ①近年の水災の特徴 ②水災による企業の損失と責任 ③タイムラインとは	
	URL: http://ur0.work/YavY	
第二部 (約20分)	(内容) ④警戒レベルを活用した水災タイムラインの策定 ～基礎知識編～ ⑤警戒レベルを活用した水災タイムラインの策定 ～応用編～ ⑥MS&ADインターリスク総研の水災関連サービス	
	URL: http://ur0.work/wLj2	

お問合せ先 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 宮崎支店 担当:乙守 TEL:0985-64-0101

後援 都城商工会議所